

《担当者名》白石 淳 jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

授業の前半は教育の歴史や思想、教育の基本的概念・理念を、後半は高等教育機関において指導する際に必要な知識を学修する。

【学修目標】

この授業は、将来教職に就く志しを持った大学院生に対し行います。授業終了後には、次のことができるようになっているはずです。また、そのようになるように努力してください。

- (1)教育の基本的概念、教育の目的等を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。
- (2)教育の方法等に関する基礎的な知識・技能が身に付き、授業を展開することができるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育の基本概念	『教育はなぜ必要なのか、学生から「退学したい」と申し出があったらどのように答えるのか』 (1) はじめに（授業・自己紹介を含む） (2) 教育の概念・必要性 (3) ライフストーリーと学習 (4) EDUCATION (5) 教育（自分の）哲学を考え持つ重要性	白石 淳
2	教育の必要性	『ひとはなぜ学ぶのか、天職の意味はなにか、大学と専門学校の違いはなにか』 (1) 教育の必要性 (2) 義務としての教育 (3) 天職の意味（専門職、資格）	白石 淳
3	教育の思想	『教育思想。発達・成長を促すポイントはなにか』 (1) 子供の発見 (2) フレーベルの教育思想 (3) モンテッソーリの教育思想 (4) 環境の重要性	白石 淳
4	日本の教育の歴史	『戦前と戦後の（教育）違いはなにか』 (1) 学校制度の始まり (2) 戦前の教育の特徴 (3) 戦後の教育の特徴	白石 淳
5	教育を受ける権利と教育基本法	『教育の権利とはなにか、権利とはなにか』 (1) 教育を受ける権利 (2) 教育基本法 (3) 権利の意味、権利と義務	白石 淳
6	北海道の学校の特徴	『北海道の教育の特徴はなにか、選ばれる学校とは』 (1) 北海道の人口、限界集落 (2) 北海道の学校の特徴 (3) 高校の学習内容（学習指導要領） (4) 高校生の進路と選ばれる学校、学校づくり	白石 淳
7	学校における危機管理	『（自分を）守るためにはどうすればよいのか』 (1) 事前、事後措置 (2) 訴訟、因果関係 (3) 民法（不法行為、債務不履行） 刑法（業務上過失） 国家賠償法（瑕疵、作為・不作為） (4) ハインリッヒの法則 (5) なぜ繰り返されるのか	白石 淳
8	授業を構成する要件	『授業の目標』 (1) 構成する要件 （目標、教材、学生、教員、指導案）	白石 淳

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		(2) 学生集団（集団圧力、学級カースト） (3) DP、CP、シラバス (4) PDOAサイクル (5) 第三者評価	
9	授業運営の工夫（指導案）	『90分の授業は、学生は集中できるのか』 (1) 年間指導計画（シラバス） (2) 初回の授業で何を話すか (3) 90分間の流れ (導入、展開、まとめ、評価(ルーブリック表をつくる))	白石 淳
10	主体的・対話的で深い学びの授業	『授業をしない塾はなにをするのか、主体的な学びをすすめるためにはどうしたらよいのか』 (1) 主体的・対話的 (学生、教員、偉人他) な深い学びの意味 (2) 生きる力（課題解決能力） (3) アクティブ・ラーニング	白石 淳
11	教材の工夫	『欠席しない授業にするためにはどのような工夫が必要か、予習・復習をさせるための方法は』 (1) 学生の実態 (2) 教材・ICT (3) 発問、課題の意味 (4) 自分はどのような授業がしたいのか	白石 淳
12	授業の実際（１）	『授業が上手（下手）な先生はどこが異なるのか』 (1) 上手（下手）な先生の授業 (2) 学習の指導案の作成 (3) 2040年問題 (4) 教員の採用	白石 淳
13	授業の実際（２）	『授業をつくる』 (1) 授業を行う（Aさん、Bさん）	白石 淳
14	教員の職務	『授業をつくる』 (1) 授業を行う（Cさん、Dさん）	白石 淳
15	まとめ	今までの授業を振り返る	白石 淳

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

取り組み状況（課題、自己評価他） 100%

【参考書】

大学教員準備講座

大学教員のための授業方法とデザイン

成長するティップス先生

【学修の準備】

予習、復習：授業時に提示します。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教員としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。